

令和4年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

I. 令和4年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを使命として、令和4年度の事業の計画・実施を行います。

令和4年度は、ここ数年間整備してきたインフラを有効活用し、自治体、各機関との連携を更に深め、美術・歴史を通じて、地域社会の発展と人々の豊かな生活の形成に貢献していく事業展開を行います。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)については、「たましん美術館」(立川市)をメインの館として企画展を3会期開催予定です。第1会期の立川市との共催企画展では、「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を、美術館から発信していきます。第2、第3会期の企画展においては、多摩の作家所蔵作品による展覧会を実施致します。「たましん歴史・美術館」(国立市)では、たましんコレクションを中心に、テーマをしぼった作品を選定し、展示します。また、各展覧会においてトークイベントを実施し、作家、作品の魅力を深めていきます。併せて、たましん美術館周辺施設、学校との連携を図り、広く美術の楽しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年通りの事業が中心ですが、広く財団の事業を知ってもらうためにホームページやデジタルアーカイブの活用、またコロナ対応で必要が生じた歴史講座のオンライン配信など、本年度につきましても継続してデジタル化に取り組みます。また、地域の市史編さん等への協力を通じての各施設との連携、各図書館との資料検索システムの横断的検索を目指すことにより、地域とのネットワークの強化を図っていきます。

令和2、3年度は新型コロナ禍の長期化により事業展開に困難が生じましたが、今年度についてもその状況が完全に解消されるという状況にはならないと想定しています。令和2、3年度の経験を活かし、そのような環境下にあっても、当財団の持つコンテンツを提供し、多くの方に喜んでもらえるよう事業を実施してまいります。

II. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

1. 美術(公1)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

たましん美術館は、今年度3会期の企画美術展を開催します。

1) 「立川市×たましん美術館 一ひと、まち、アートー」

令和4年4月9日～7月24日(92日間)

立川市との共催企画展。立川市所蔵美術作品と、たましんコレクションの美術

作品をあわせて展示する。「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を、美術館から発信する。

2) 「没後 30 年 松村健三郎展」

令和 4 年 8 月 6 日 ～ 11 月 20 日 (88 日間)

大正時代に新進気鋭の画家として注目されながらも、画壇から距離を置き、50 代以降は国立市で創作を続けた松村健三郎の、没後 30 年を記念して行う回顧展。

3) 「新収蔵 小貫政之助展」

令和 4 年 12 月 3 日 ～ 令和 5 年 3 月 26 日 (89 日間)

戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会。作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り返る。

② たましん歴史・美術館

たましんコレクションによる常設展を 3 会期、開催します。各期、テーマを設定し、そのテーマに対応する作品を展示します。

1) 第 1 会期 令和 4 年 4 月 16 日 ～ 7 月 10 日

2) 第 2 会期 令和 4 年 7 月 23 日 ～ 11 月 6 日

3) 第 3 会期 令和 4 年 11 月 19 日 ～ 3 月 26 日

③ たましん本店 2 階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営

たましん本店 2 階ギャラリーの展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。本件は多摩信用金庫からの委託事業です。

(2) 調査・研究・収集・保存

① 所蔵作品の調査・研究

所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映する。

② たましん美術館年報・紀要の発行

たましん美術館の活動の記録及び所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年 1 冊のペースで刊行していく。

③ 収蔵庫の環境改善

経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。

④ 資料・図書収集、整備

多摩地域に関わる重要な作家の資料や地域における美術に関する図書等を引き続き収集する。また、整理作業を定期的に行い、配架します。

(3) 美術講座・美術教育

① たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク

展覧会担当学芸員が展覧会主旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。

② トークイベント、体験型イベント

1) アーティストトーク

「立川市共催展」会期中に、出品作家を招き、制作にまつわるトークイベントを行う。

2) 「松村健三郎」展スライドトーク

「松村健三郎」展会期中に、他館学芸員を招き、作者の魅力に迫るトークイベントを行う。

3) 「小貫政之助」展スライドトーク

「小貫政之助」展会期中に、作家小貫政之助の生涯や画風の展開、画家としての魅力について、スライドを用いて、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。

③ 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。昨年度は新型コロナの影響で本講座を開催できなかったことから、今年度も同じテーマで、「古代ギリシャの美術と文化」についての3回講座を予定しています。

第1回 「エーゲ海文明の曙」

第2回 「アルカイック時代とオリンピック」

第3回 「クラシック時代とヘレニズム時代」

(使用会場が新型コロナウイルス感染症予防対応に使用予定のため、開催時期未定)

講師 斎藤陽一氏

(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)

会場 くにたち市民芸術小ホール

募集人員 毎回 60 名(延べ 180 名) 受講料 無料

(4) 連携

① 学校との連携

1) 地域の学校との連携

立川市内の市立中学校全校の1年生全員が「たましん美術館」を見学します。本件は立川市教育委員会との連携事業で、作品鑑賞や美術館でのマナー等を指導します。また、地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へ繋げていきます。

② たましん美術館周辺地区との連携

たましん美術館の周辺地区の施設(グリーンスプリングス、ファーレアート、立川市)の交流を図り、様々な連携企画を行っていく。

(5) 広報・普及活動

① 広報活動の実施と広報活動手段の拡充

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的行いま

す。また、多摩信用金庫に設置されているデジタルサイネージ、インフォメーションテレビ、および職員向けの社内ニュースにおける展覧会の案内を実施していきます。

② 展覧会スケジュールの発行

次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。

2. 歴史(公2)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

186号「疫病退散」(仮題)	令和4年5月31日発行
187号「武蔵・相模の人形芝居」(仮題)	令和4年8月31日発行
188号「多摩の社寺建築」(仮題)	令和4年11月30日発行
189号「多摩の動物園」(仮題)	令和5年2月28日発行

(2) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新作コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

(3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。会場は多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100名を募集します。ただし、新型コロナウイルス感染の状況によっては、定員数を減らします。受講料は無料です。

また、上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。

(4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化していきます。

また、NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

(5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計19回となりました。

コロナ禍で一時中断していた武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。

(6) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。

Ⅲ. 収益事業

1. 物品販売事業（収1）

(1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、財団発行の書籍を販売します。また、地域の作家の陶器、染物や地域企業のグッズ、各種雑貨等の委託販売を行います。

Ⅳ. 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

(1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和2年6月22日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
- ③ 監事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

(2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 7,367千円)

(1)企画展覧会

①たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				開催 日数	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間				
1	立川市共催展 「立川市×たましん美術館 ーひと、まち、アートー」	自主	2022年4月9日(土) ～7月24日(日)		92	立川市との共催企画展。立川市所蔵美術作品と、たましんコレクションの美術作品をあわせて展示する。「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を、美術館から発信する。	634
2	没後30年 松村健三郎展	自主	2022年8月6日(土) ～11月20日(日)		88	大正時代に新進気鋭の画家として注目されながらも、画壇から距離を置き、50代以降は国立市で創作を続けた松村健三郎の、没後30年を記念して行う回顧展。	1,060
3	新収蔵 小貫政之助展	自主	2022年12月3日(土) ～2023年3月26日(日)		89	戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会。作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り返る。	2,993

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				開催 日数	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間				
1	たましんコレクション展1	自主	2022年4月16日(土) ～7月10日(日)		66	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	395
2	たましんコレクション展2	自主	2022年7月23日(土) ～11月6日(日)		85	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	265
3	たましんコレクション展3	自主	2022年11月19日(土) ～2023年3月12日(日)		86	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	265

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画				会期	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間				
1	たましん本店2階ギャラリー運営	自主	通年		7	たましん本店2階ギャラリー(地域貢献スペース)の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。	330

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画		計 画	予算額 (千円)
	事業名	実施期間		
1	所蔵作品の調査・研究	通年	所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映する。	350
1	たましん美術館年報・紀要の発行		たましん美術館の活動の記録および所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年2冊のペースで刊行していく。	280
2	収蔵庫の環境改善		経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防霉施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。	460
3	資料・図書の収集		多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集する。	150

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

②トークイベント、体験型イベント

1	アーティストトーク	自主	日時未定	立川市共催展「立川市×たましん美術館 一ひと、まち、アート」会期中に、出品作家を招き、制作にまつわるトークイベントを行う。	5
2	「松村健三郎」展スライドトーク	自主	日時未定	「松村健三郎」展会期中に、他館学芸員を招き、作者の魅力に迫るトークイベントを行う。	10
3	「小貫政之助」展スライドトーク	自主	日時未定	「小貫政之助」展会期中に、作家小貫政之助の生涯や画風の展開、画家としての魅力について、作品スライドを用いて、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。	0

③美術講演会

1	美術講演会	共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定。 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館プロデューサー」) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料	100
---	-------	----	------	---	-----

(4)連携

① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			予 算 額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	
1	地域の学校との連携	自主	通年	0

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			予 算 額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	0
2	ファーレアートとの連携			
3	立川市との連携			

(5)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			予 算 額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	70
2	展覧会スケジュールの発行	自主	通年	

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 1,175千円)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	186号「疫病退散」(仮題)	自主	5月	新型コロナウイルス感染症は、人びとの心身や暮らしに多大な影響を及ぼしています。歴史を振り返ると、感染症は発生と変異を繰り返してきました。本号では、過去の感染症はどのようなものだったのか、人びとは感染症にどのように向きあってきたのかなど、多摩地域の事例を紹介しします。	2,272
2	187号「武蔵・相模の人形芝居」(仮題)	自主	8月	八王子車人形や秩父、飯能などで、調査報告書がまとまってきています。本号では八王子車人形、川野車人形、糸操り結城座、三芳町竹間沢車人形、相模人形芝居などの各地の人形芝居を紹介します。	2,272
3	188号「多摩の社寺建築」(仮題)	自主	11月	日本古来の木造建築のなかでも、社寺建築はながく建築界の主流を占めて、その構造も和風木構造のなかで最も高度な技術をもつものです。禅宗様建築の代表的遺構で、国宝建造物として名高い正福寺地蔵堂(東村山市)をはじめ、多摩各地の社寺建築を紹介しします。	2,272
4	189号「多摩の動物園」(仮題)	自主	令和5年2月	動物園は親子で楽しめる施設というだけでなく博物館であり、多摩だけでなく全世界的な繁殖ネットワークや研究活動の中でも機能しています。多摩動物公園、羽村動物公園、町田リス園、井之頭自然文化園など、多摩の動物園やそのはたらきを紹介しします。	2,272

(2)歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開しします。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新作コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載しします。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	650

(3)多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施しします。 会場：多摩信用金庫府中支店 会議室(予定) 定員：100名(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては定員数を減らします。) 受講料：無料	235
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	共催	12月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討しします。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定しします。	0

(4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、各市町村とのネットワークを強化していきます。	0
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。	0

(5) 多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、計19回となりました。コロナ禍で一時中断していた武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。	100

(6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	550
2	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。	1,128

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 230千円)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。	<u>230</u>

令和4年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和4年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和4年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和3年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
基本財産運用益	4,600,000			4,600,000	4,600,000		0		4,600,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0			0	0	0		0	0
事業収益	2,370,000	2,030,000	40,000	0	2,070,000	300,000	300,000	0	4,280,000	△ 1,910,000
入館料収益	2,000,000	2,000,000			2,000,000		0		3,530,000	△ 1,530,000
図録販売収益	30,000	30,000			30,000		0		100,000	△ 70,000
出版事業収益	40,000		40,000		40,000		0		50,000	△ 10,000
物品販売収益	300,000				0	300,000	300,000		600,000	△ 300,000
受取補助金										
受取寄付金	83,880,000	18,500,000	0	61,300,000	79,800,000	190,000	190,000	3,890,000	78,880,000	5,000,000
受取寄付金	83,880,000	18,500,000		61,300,000	79,800,000	190,000	190,000	3,890,000	78,880,000	5,000,000
雑収益	730,000	230,000	450,000	0	680,000	0	0	50,000	780,000	△ 50,000
雑収益	730,000	230,000	450,000	0	680,000		0	50,000	780,000	△ 50,000
経常収益計(A)	91,590,000	20,760,000	490,000	65,910,000	87,160,000	490,000	490,000	3,940,000	88,550,000	3,040,000
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	98,360,000	60,960,000	31,820,000	0	92,780,000	470,000	470,000	5,110,000	89,280,000	9,080,000
売上原価	110,000	70,000	30,000	0	100,000	10,000	10,000	0	140,000	△ 30,000
役員報酬	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000	600,000	△ 100,000
給料手当	26,780,000	16,700,000	10,080,000	0	26,780,000	0	0	0	24,560,000	2,220,000
臨時雇賃金	8,420,000	3,950,000	4,470,000	0	8,420,000	0	0	0	4,180,000	4,240,000
賞与引当金繰入	1,610,000	1,140,000	470,000	0	1,610,000	0	0	0	1,440,000	170,000
退職給付費用	810,000	520,000	290,000	0	810,000	0	0	0	500,000	310,000
法定福利費	4,600,000	2,900,000	1,530,000	0	4,430,000	0	0	170,000	3,990,000	610,000
福利厚生費	180,000	80,000	80,000	0	160,000	0	0	20,000	260,000	△ 80,000
旅費交通費	1,320,000	750,000	520,000	0	1,270,000	0	0	50,000	1,360,000	△ 40,000
通信運搬費	3,010,000	1,070,000	1,540,000	0	2,610,000	5,000	5,000	395,000	3,870,000	△ 860,000
減価償却費	600,000	330,000	0	0	330,000	0	0	270,000	710,000	△ 110,000
支払手数料	170,000	20,000	70,000		90,000	10,000	10,000	70,000	0	170,000
消耗什器備品費	280,000	130,000	150,000	0	280,000	0	0	0	40,000	240,000
消耗品費	1,490,000	1,070,000	230,000	0	1,300,000	10,000	10,000	180,000	1,340,000	150,000
修繕費	60,000	20,000	20,000	0	40,000	0	0	20,000	110,000	△ 50,000
印刷製本費	10,580,000	2,520,000	8,050,000	0	10,570,000	5,000	5,000	5,000	11,060,000	△ 480,000
燃料費	50,000	30,000	10,000	0	40,000	0	0	10,000	60,000	△ 10,000
光熱水料費	1,110,000	820,000	210,000	0	1,030,000	0	0	80,000	1,230,000	△ 120,000
賃借料	21,620,000	20,330,000	300,000	0	20,630,000	200,000	200,000	790,000	20,250,000	1,370,000
保険料	1,140,000	1,040,000	20,000	0	1,060,000	0	0	80,000	1,090,000	50,000
諸謝金	1,060,000	60,000	1,000,000	0	1,060,000	0	0	0	1,000,000	60,000
保守管理費	3,390,000	2,680,000	200,000	0	2,880,000	20,000	20,000	490,000	3,000,000	390,000
会議費	310,000	10,000	50,000	0	60,000	0	0	250,000	510,000	△ 200,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	350,000	50,000	300,000	0	350,000	0	0	0	300,000	50,000
委託費	7,260,000	4,110,000	1,990,000	0	6,100,000	0	0	1,160,000	6,360,000	900,000
研修費	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	80,000	120,000
宣伝費	210,000	210,000	0	0	210,000	0	0	0	10,000	200,000
仕入費	210,000	0	0	0	0	210,000	210,000	0	350,000	△ 140,000
諸会費	710,000	250,000	210,000	0	460,000	0	0	250,000	630,000	80,000
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	40,000	△ 30,000
経常費用計(B)	98,360,000	60,960,000	31,820,000	0	92,780,000	470,000	470,000	5,110,000	89,280,000	9,080,000
当期経常増減の部(A)-(B)	△ 6,770,000	△ 40,200,000	△ 31,330,000	65,910,000	△ 5,620,000	20,000	20,000	△ 1,170,000	△ 730,000	△ 6,040,000
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,770,000	△ 40,200,000	△ 31,330,000	65,910,000	△ 5,620,000	20,000	20,000	△ 1,170,000	△ 730,000	△ 6,040,000
一般正味財産期首残高	40,357,841	△ 301,802,879	△ 288,896,152	627,426,465	36,727,434	839,559	839,559	2,790,848	40,633,287	△ 275,446
一般正味財産期末残高(E)	33,587,841	△ 342,002,879	△ 320,226,152	693,336,465	31,107,434	859,559	859,559	1,620,848	39,903,287	△ 6,315,446
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	849,471,936	547,992,646	0	300,000,000	847,992,646	1,479,290	1,479,290	0	849,471,936	0
指定正味財産期末残高(F)	849,471,936	547,992,646	0	300,000,000	847,992,646	1,479,290	1,479,290	0	849,471,936	0
III 正味財産期末残高(E)+(F)	883,059,777	205,989,767	△ 320,226,152	993,336,465	879,100,080	2,338,849	2,338,849	1,620,848	889,375,223	△ 6,315,446

令和4年度

事業報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

目 次

1. 事業の概要	1
2. 事業報告の内訳	4
公益目的事業	
1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)	
(1) 企画展覧会	4
① たましん美術館	4
② たましん歴史・美術館	4
③ 地域貢献スペース(ギャラリー)	4
(2) 調査・研究・収集・保存	5
(3) 美術講座・美術教育	5
① ギャラリートーク	5
② トークイベント、体験型イベント	5
③ 美術講演会	5
(4) 地域との連携	6
① 学校との連携	6
② たましん美術館周辺地区との連携	6
(5) 広報・普及活動	6
2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)	
(1) 『多摩のあゆみ』の刊行	7
(2) 歴史資料室の運営	7
(3) 多摩の歴史講座	8
(4) 地域とのネットワーク強化	8
(5) 「多摩の金融史」関係資料の整理	9
(6) 広報・普及活動	9
収益事業	
3. 物品販売事業(収1)	
(1) 物品販売事業	10
3. 管理	11
役員等及び役員会等に関する事項	
1. 評議員、理事及び監事の名簿	11
2. 評議員会、理事会に関する事項	13
4. 附属明細書	15
1. たましん美術館実績一覧	15
2. たましん歴史・美術館実績一覧	16
3. 地域貢献スペース(ギャラリー)展覧会名	17

1. 事業の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを目的に事業を実施しております。

令和4年度は、ここ数年間整備してきたインフラを有効活用し、自治体、各機関との連携を更に深め、美術・歴史を通じて、地域社会の発展と人々の豊かな生活の形成に貢献していく事業を実施致しました。

新型コロナ禍の長期化により、令和4年度についても実施できない事業もありましたが、令和2、3年度の経験を活かし、そのような環境下にあっても感染対策を行いながら、当財団の持つコンテンツを提供し、多くの方に喜んでもらえるよう事業を実施してまいりました。

(1) 美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

メイン館である「たましん美術館」（立川市）では、企画展を3会期開催致しました。第1会期「立川市×たましん美術館—ひと、まち、アート—」は、立川市との共催企画展であり、立川市所蔵作品とたましんコレクションの作品をあわせて展示し、作品を通して「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を多くの方に知っていただく機会となりました（入館者数3,428人：1日平均37.3人）。第2会期「没後30年 松村健三郎展」は、大正時代に新進気鋭の画家として注目されながらも、画壇から距離を置き、50代以降は国立市で創作を続けた松村健三郎の没後30年を記念して回顧展を行いました（入館者数2,789人：1日平均31.7人）。第3会期「コレクションの異境 小貫政之助展」は、戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会を行いました。作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り返り、小貫政之助の再評価の機運を高めることができました（入館者数2,637人：1日平均29.6人）。

「たましん歴史・美術館」（国立市）では、たましんコレクションを中心とする企画展を3会期開催致しました。第1会期「TAMAのアートは百花繚乱」は、人間国宝にも選ばれた陶工藤本能道、日本画家の佐藤多持、篆刻家の本田谷庵など、多摩を中心に創作活動をした作家たちの作品を並べ、多摩の文化の豊かさを紹介しました（入館者数470人：1日平均7.1人）。第2会期「たましん名画鑑賞会」は、19世紀から20世紀にかけて描かれたヨーロッパの風景画や人物画、また、ヨーロッパに渡った日本人画家たちから国内に広まり、発展した近代画家の数々を集めて展示をすることで、今の私たちの「名画」イメージをあらためて

振り返る展覧会を開催しました（入館者数 1,473 人：1 日平均 17.3 人）。第 3 会期「東洋古陶磁展～やきもの超入門編～ [同時開催] 小貫政之助の女たち」は、中国・朝鮮・日本の古陶磁と工芸品を展示し、三国の歴史と鑑賞の基礎知識をパネルで紹介して、やきものを見る楽しみ方を伝えました。同時開催の「小貫政之助の女たち」展では、たましん美術館の「小貫政之助展」と連動し、1960 年代以降から晩年の女性像を中心に展示しました（入館者数 927 人：1 日平均 10.5 人）。

新型コロナ禍の長期化により厳しい環境ではありましたが、たましん美術館、たましん歴史・美術館の相互割引等を実施し、2 館の来館者が相乗的に増加するような新たな取り組みを実施しました。

たましん本店 2 階「地域貢献スペース」（ギャラリー）の運営（多摩信用金庫委託業務）では、前年度に企画選定委員会を通じて決定した全 7 会期の作品展の実施にあたり、計画段階からの監督、展示、撤収作業の立ち合いなどを財団学芸員が行いました。

たましん美術館における立川市内中学 1 年生に対する鑑賞教室については、立川市教育委員会と連携した市内全学校に対しての実施はできなかったものの、立川市に限らず、鑑賞教室の希望があった学校に対しては個別に実施を致しました。企画展覧会に組み込んだイベントやギャラリートーク等は、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、実施することができ、参加された方々には大変好評でした。

(2) 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営（公 2）

歴史事業の柱である『多摩のあゆみ』は、186 号から 189 号まで 4 回発行しました。各号の特集では、186 号「疫病退散」、187 号「武蔵・相模の人形芝居」、188 号「多摩の社寺建築」、189 号「多摩の動物園」を採り上げました。186 号では新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、幕末期の流行病の様子を紹介する特集を組むことができました。187 号では武蔵、相模へと広域に人形芝居の様相を紹介することで、多摩地域だけにとどまらない、南関東の人形芝居同士の関わり合いを紹介することができました。188 号では多摩各地の代表的な社寺を紹介し、各社寺に本誌を贈呈することによって関係を深めることができました。189 号ではアミューズメントパークとしてでなく「博物館としての動物園」という視点から、動物園の持つ使命の多様さを紹介することができました。

歴史資料室は令和 4 年度に、図書 246 冊、雑誌 299 冊、絵葉書 8 枚、地図 5 枚、チラシ 6 枚、ポスター 126 枚、合計 690 点を収集・整理しました。また、『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」の地図画像や PDF 本文を毎号デ

デジタルアーカイブで公開しました。更に、TRC - ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに、全国 137 機関（図書館・博物館・大学など）とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しました。（令和 4 年度総アクセス数 667,878pv）

例年開催している（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員数を半数の 45 名として対面講座を開催しました。「デジタルアーカイブで資料を見る—古文書・絵図・地図・写真—」をテーマに全 5 講を実施し、令和 4 年度についても講座内容を編集して動画配信しました。（令和 5 年 3 月の月間視聴者数 118 人）

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して中止していた武蔵野支店倉庫に収蔵されている多摩信用金庫（旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫）の資料調査・撮影を再開しました。また、TAMA MIRAI SQUARE（多摩信用金庫旧本店）1 階で「多摩の金融史」パネル展示を行い展示パネルの二次元コードから、当財団歴史資料室ホームページ「多摩の金融史」コーナーにリンクし、携帯端末でこれまでの連載が閲覧できるようになりました。

（3）物品販売事業（収 1）

「たましん美術館」のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがき、地域作家の陶器、染物、各種雑貨等の委託販売を行い、計画していた売上予算を達成することができました。

事業報告

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

（定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（1）企画展覧会

①たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				報 告	入館料収入 (円)	入館者数 (人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数			
1	立川市共催展 「立川市×たましん美術館 一ひと、まち、アート」	自主	2022年4月9日（土） ～7月24日（日）	92	立川市との共催企画展。立川市所蔵美術作品と、たましんコレクションの美術作品をあわせて展示を行った。作品を通して「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を多くの方々に知っていただく機会となった。	632,400	3,428 (1,539)
2	没後30年 松村健三郎展	自主	2022年8月6日（土） ～11月20日（日）	88	大正時代に新進気鋭の画家として注目されながらも、画壇から距離を置き、50代以降は国立市で創作を続けた松村健三郎の、没後30年を記念して行う回顧展を行った。	491,100	2,789 (1,030)
3	コレクションの異境 小貫政之助展	自主	2022年12月3日（土） ～2023年3月26日（日）	89	戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会を行った。作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り返り、小貫政之助の再評価の機運を高めた。	634,700	2,637 (1,356)

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				報 告	入館料収入 (円)	入館者数 (人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数			
1	TAMAのアートは百花繚乱	自主	2022年4月16日（土） ～7月10日（日）	66	たましんコレクションの中から、人間国宝にも選ばれた陶工藤本能道、日本画家の佐藤多持、篆刻家の本田谷庵など、多摩を中心に創作活動をした作家たちの作品を並べ、多摩の文化の豊かさを紹介した。	32,000	470 (320)
2	たましん名画鑑賞会	自主	2022年7月23日（土） ～11月6日（日）	85	たましんコレクションの中から、19世紀から20世紀にかけて描かれたヨーロッパの風景画や人物画、またヨーロッパに渡った日本人画家たちから国内に広まり発展した近代洋画の数々を集めて展示をすることで、今の私たちの「名画」イメージをあらためて振り返る展示とした。	103,900	1,473 (1,039)
3	東洋古陶磁展～やきもの超入門編～ 〔同時開催〕小貫政之助の女たち	自主	2022年11月19日（土） ～2023年3月12日（日）	88	たましんコレクションから、中国・朝鮮・日本の古陶磁と工芸品を展示した。三国の歴史と、鑑賞の基礎知識をパネルで紹介し、やきものを見る楽しみ方を伝えた。同時開催の「小貫政之助の女たち」展では、たましん美術館の「小貫政之助展」と連動し、1960年代以降から晩年の女性像を中心に展示した。	57,300	927 (573)

③地域貢献スペース（ギャラリー）

計画事業 通し番号	計 画				報 告
	事業名	自主・共催	実施期間	会期	
1	たましん本店2階 地域貢献スペース（ギャラリー）運営	自主	通年	7	多摩信用金庫からの委託業務として、地域貢献スペースの展示を行った。前年度に企画選定委員会を通じて決定した、全7会期の展示を実行するにあたり、計画段階からの監督、展示・撤収作業の立ち会いなどを財団学芸員が行った。 (当スペースは無料開放エリアのため、入館者数は未計測)

(2) 調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画		報 告
	事 業 名	実施期間	事業内容及び説明
1	所蔵作品の調査・研究	通年	所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映した。
2	たましん美術館年報の発行		たましん美術館の2020年度、2021年度の活動記録をまとめた『たましん美術館年報』を編集、発行した。今後、継続的な発行を予定している。
3	収蔵庫の環境改善		経年の汚れが著積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行った。カビ発生の原因となる結露を防止するため、空調の温度設定を季節にあわせて調整するよう工夫した。また除塵防霉施工の専門家に状況視察を依頼し、今後の対策の指導を受けた。次年度以降、地道に対策を講じていく予定である。
4	資料・図書の収集		多摩地域と縁が深い作家であり、美術史的にも重要と判断した作品に限り、寄贈を受け、コレクションの充実を図った。展覧会を実施したこともあり、松村健三郎、小貫政之助の作品および関係資料のご寄贈をいただいた。

(3) 美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク	自主	松村健三郎展： 2022年8月26日(金)、10月29日(土) 小貫政之助展： 12月17日(土)、2023年2月25日(土)	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行った。

② トークイベント、体験型イベント

1	トークセッション「アートが人と人をつなぐ」	自主	トークセッション： 2022年5月28日(土)	立川市共催展「立川市×たましん美術館 一ひと、まち、アート」会期中に、出品作家の赤川政由、峰尾幸仁2名を招き、制作にまつわるトークイベントを行った。
2	「松村健三郎」展スライドトーク	自主	実施せず	「松村健三郎」展会期中にスライドトークは行わず、その代わりにギャラリートークの回数を増やした。
3	「小貫政之助」展スライドトーク	自主	2023年3月25日(土)	「小貫政之助」展会期中に、レクチャー&トークセッション「小貫政之助 人と作品」という形で、作家小貫政之助の生涯や画風の展開、画家としての魅力について、小貫と交流のあった方々をゲストに招き、展覧会担当学芸員をまじえてトークイベントを行った。

③ 美術講演会

1	美術講演会	共催	実施せず	(公財)くになち文化・スポーツ振興財団、くになちギャラリーネットワークとの共催事業として美術講演会を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となった。
---	-------	----	------	---

(4) 地域との連携

① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域の学校との連携	自主	博物館実習： 2022年8/16（火）～20（土）	たましん美術館における立川市内中学一年生に対する鑑賞教室については、立川市教育委員会と連携した市内全中学校に対しての実施はできなかったものの、立川市に限らず鑑賞教室の希望があった学校に対しては個別に実施をした。 学芸員資格の取得を目指す学生を対象とした博物館実習を行い、地域の美術大学から学生を受け入れた。

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	ファーレ立川アート 特別鑑賞ツアー： 2022年6月11日（土）、7月9日（土）	グリーンスプリングス内のPLAY!ミュージアム、昭和記念公園の案内センターとは展覧会広報物の相互設置を行った。ファーレ倶楽部の協力により、立川市のパブリックアート「ファーレ立川アート」をめぐる鑑賞ツアーを行った。立川市とは共催展という形で展覧会を実施し、展覧会閉幕後には立川市作成による展覧会特設サイトも公開された。 https://www.tachikawa-artcollection.jp/exhibition/
2	ファーレ立川アートとの連携			
3	立川市との連携			

(5) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	美術館専用WEBサイトのコンテンツの充実をはかり、たましん美術館、たましん歴史・美術館、ギャラリー（地域貢献スペース）、この3つの展示施設の情報の周知につとめた。
2	展覧会スケジュールの発行	自主	通年	次年度のたましん美術館／たましん歴史・美術館／地域貢献スペースの展覧会スケジュールを発行した。

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（公2）

（定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（1）『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	発行部数（部）
	事 業 名	自主・共催	刊行日	事業内容及び説明	
1	186号「疫病退散」	自主	5月31日	私たちは新型コロナウイルス感染症に対応していますが、昔の人びとは感染症とどのように向きあってきたのでしょうか。本号では、多摩各地の様子を記した江戸後期の日記などを読み解いて、当時の人びとが痘瘡神に対する信仰とともに、蘭方医学を用いた医療も行われていたことを紹介しました。	11,000
2	187号「武蔵・相模の人形芝居」	自主	8月31日	令和4年に国重要無形民俗文化財に指定された八王子車人形だけでなく、東京都、埼玉県、神奈川県各地に残る人形芝居の歴史と、人形の形態などに見られる関わり合いを紹介しました。2月12日に厚木市文化会館で開催された第50回相模人形芝居大会では100部を配布しました。	11,000
3	188号「多摩の社寺建築」	自主	11月30日	多摩地域には、古くから人びとに親しまれてきた神社と寺院が数多くあります。日本古来の建築のなかでも社寺建築は主流を占めて、その構造は和風木造のなかで最も高度な技術をもつものです。修復や再建を繰り返してきた多摩各地の代表的な社寺建築を紹介しました。	11,000
4	189号「多摩の動物園」	自主	令和5年2月28日	アミューズメントパークとしてではなく「博物館としての動物園」という視点から、井の頭自然文化園、多摩動物公園、ヒノトントンZOO（羽村市動物公園）、町田リス園を取り上げ、動物園の持つ使命の多様さを紹介しました。	11,000

（2）歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	閲覧者数 （人）
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	歴史資料室の運営	自主	通年	令和4年度は、図書246冊、雑誌299冊、絵葉書8枚、地図5枚、チラシ6枚、ポスター126枚、合計690点を収集・整理しました。今期末現在で図書27,523冊、雑誌16,348冊、絵葉書6,479枚、地図1,853枚、チラシ552枚、ポスター4,657枚を所蔵しています。	閲覧者用紙 記入者数 435

(3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数および視聴者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	第25回多摩の歴史講座 (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センターとの共催事業	共催	令和4年10月～12月	<p>「デジタルアーカイブで資料をみる-古文書・絵図・地図・写真-」 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を半数の45名として対面講座を開催しました。</p> <p>第1講 10月19日(水) 午後2時00分～午後3時30分 「福生の古地図「下河原図」「字南」を読み解く-福生デジタル-」 講師：青海伸一(福生市郷土資料室)、柿田芳久(元福生市立図書館長)</p> <p>第2講 11月2日(水) 午後2時00分～午後3時30分 「欲しい地域資料にたどり着くには -こだいら図書館ホームページとデジタルアーカイブ-」 講師：蛭田廣一(元小平市中央図書館長)</p> <p>第3講 11月16日(水) 午後2時00分～午後3時30分 「三鷹市大沢地区の歴史を古写真で考える -ICUアーカイブズデータベース-」 講師：松山龍彦(国際基督教大学ICUアーカイブズ)</p> <p>第4講 11月30日(水) 午後2時00分～午後3時30分 「調布玉川惣画図をめぐる旅-多摩市デジタルアーカイブ-」 講師：橋場万里子(パルテノン多摩)、浮揚圭子(多摩市立図書館)</p> <p>第5講 12月14日(水) 午後2時00分～午後3時30分 「戦国時代の紅林家文書を読む-昭島市デジタルアーカイブズ-」 講師：白川宗昭(昭島市文化財保護審議会)、 伊藤雅彦(昭島市アキシマエンシス管理課文化財係)</p>	募集人数 45 応募人数 83 (当選 45)
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	共催	令和5年3月～8月	第25回多摩の歴史講座を昨年同様、動画配信プラットフォームvimeoから配信しました。	視聴数 118 (令和5年3月1日 ～3月31日)

(4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	<p>国文学研究資料館(立川市)、東京都立多摩図書館(国分寺市)、東京都公文書館(国分寺市)、東京都三多摩公立博物館協議会との連携を深め、また今年度も、立川市、青梅市、八王子市等の市史編さん、文化財保護に委員として参加して、各市町村とのネットワークの強化を継続しています。</p> <p>NPO法人共同保存図書館・多摩(通称:多摩デポ)では、2022年度通常総会記念として室長・保坂一房の講演がYouTubeで配信されました。また、この講演をもとにして、多摩デポブックレット16『地域資料とデジタルアーカイブ-たましん地域文化財団歴史資料室を例に一』が3月に刊行されました。</p>
2	資料検索システムの統合検索	自主	通年	<p>NPO法人共同保存図書館・多摩と連携・協力して、当財団所蔵圖書の書誌情報を都立図書館や市区町村立図書館などと統合的に検索できる仕組み「多摩デポ統合検索システム」の実用化に向けた研究会に参加しました。</p>

(5) 「多摩金融史」関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、23回目まで掲載してきました。 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して中止していた、武蔵野支店に収蔵されている多摩信用金庫（旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫）の資料調査・撮影を再開しました。 また、TAMA MIRAI SQUARE（多摩信用金庫旧本店）1階で「多摩の金融史」パネル展示を行い、展示パネルの二次元コードから、当財団歴史ホームページ「多摩の金融史」コーナーにリンクし、携帯端末でこれまでの連載が閲覧できるようになりました。

(6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』刊行等の告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』の刊行や歴史資料室所蔵資料等の情報を、随時当財団のホームページに公開しました。
2	『多摩のあゆみ』連載のデジタルアーカイブ化	自主	通年	TRC-ADEAC(株)(文京区)のデジタルアーカイブシステムに、全国137機関(図書館・博物館・大学など)とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しています。 『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像やPDF本文を、毎号デジタルアーカイブで公開しました。 本年度(令和4年4月～令和5年3月)の総アクセス数は、687,878pv(※)です。 ※pv(page view):ページへのアクセス数の単位 昨年に比べてアクセス数が少ない理由はTRC-ADEACのシステム変更によりカウント方法が変わったことによります。

収益事業

3. 物品販売事業（収1）

（定款第4条第1項第9号）

（1）物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			報 告	売上高										
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(円)										
1	物品販売事業	自主	通年	令和4年度は、従来取り扱っていた商品に加え、小貫政之助展の開催に合わせて、オリジナル絵はがきを作成し販売を行った。 また、小貫政之助展開催時は、吉祥寺美術館の小貫関連商品を委託販売、関連書籍の委託販売を行った。	<table border="0"> <tr> <td>絵はがき</td> <td>68,950</td> </tr> <tr> <td>オリジナル商品</td> <td>35,860</td> </tr> <tr> <td>書籍類</td> <td>33,204</td> </tr> <tr> <td>委託商品</td> <td>254,437</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>392,451</td> </tr> </table>	絵はがき	68,950	オリジナル商品	35,860	書籍類	33,204	委託商品	254,437	合計	392,451
絵はがき	68,950														
オリジナル商品	35,860														
書籍類	33,204														
委託商品	254,437														
合計	392,451														

3. 管理

役員等及び役員会等に関する事項

1. 評議員、理事及び監事の名簿

①評議員

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	さいとう けんいち 齋藤 慎一	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家古文書学術調査団 委員
〃	うただ けんすけ 歌田 真介	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	東京藝術大学 名誉教授
〃	おかの のりよ 岡野 法世	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	さかづめ ひでいち 坂詰 秀一	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学 名誉教授
〃	もちづき かずお 望月 一雄	令和3年6月18日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	えんどう りゅうた 遠藤 竜太	令和4年10月21日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵野美術大学 教授
〃	かない まさひこ 金井 雅彦	令和3年7月15日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 専務理事

②理事

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	やぎ 八木 敏郎	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 理事長
理事	かわぐち 川口 哲生	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立川商工会議所 会頭
〃	むらの 村野 安成	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造場 代表社員
〃	わいだ 和井田 慶子	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	岩崎ビルディング株式会社 監査役
〃	ばば 馬場 憲一	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	法政大学 名誉教授
〃	なかじま 中島 孝昌	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	中島建設株式会社 代表取締役
〃	あし 宇治 康	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文化振興財団 理事(非常勤)

③監事

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監事	きたう 佐藤 収一	令和4年10月21日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	明窓浄机館 館長
〃	おざわ 小澤 のぶあき	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士

2. 評議員会、理事会に関する事項

(1) 会議開催の状況

① 評議員会

開会年月日	件名	会議結果
令和4年6月22日 (定時)	第1号議案 「令和3年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第2号議案 理事の選任について	可 決
	第3号議案 監事の選任について	可 決
	報告事項① 「令和3年度事業報告及び附属明細書」について	—
	報告事項② 常勤職員に対する永年勤続表彰について	—
	報告事項③ 八木理事長の職務執行状況報告	—
	報告事項④ 宇治業務執行理事の職務執行状況報告	—
令和4年10月21日 (第2回・書面決議)	第1号議案 補欠評議員1名の選任について	可 決
	第2号議案 補欠監事1名の選任について	可 決
令和5年1月18日 (第3回・書面決議)	第1号議案 1号財産及び2号財産の取崩し、売買契約締結の件	可 決
令和5年3月22日 (第4回)	第1号議案 令和5年度 事業計画(案)について	可決
	第2号議案 令和5年度 収支予算(案)について	可決
	報告事項① 八木理事長の職務執行状況報告	—
	報告事項② 宇治業務執行理事の職務執行状況報告	—

②理事会

開会年月日	件 名	会議結果
令和4年6月7日 (第1回)	第1号議案 「令和3年度事業報告及び附属明細書」について	可 決
	第2号議案 「令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第3号議案 常勤職員に対する永年勤続表彰について	可 決
	第4号議案 令和4年度定時評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長の職務執行状況報告	—
	報告事項② 宇治業務執行理事の職務執行状況報告	—
令和4年6月22日 (第2回・書面決議)	第1号議案 代表理事1名選定の件	可 決
	第2号議案 業務執行理事1名選定の件	可 決
	第3号議案 重要な使用人（館長）選任の件	可 決
令和4年8月26日 (第3回・書面決議)	第1号議案 特定個人情報保護宣言の一部改正について	可 決
	第2号議案 個人情報管理規程の一部改正について	可 決
	第3号議案 特定個人情報等取扱規程の一部改正について	可 決
	第4号議案 健康情報等に関する取扱規程の制定について	可 決
	第5号議案 雇用管理に関する個人情報取扱規程の制定について	可 決
	第6号議案 雇用管理に関する特定個人情報取扱規程の制定について	可 決
令和4年10月14日 (第4回・書面決議)	第1号議案 「特定費用準備資金取扱規程」の制定について	可 決
	第2号議案 「令和4年度第2回評議員会の決議の省略の方法で行うこと」の承認について	可 決
令和5年1月13日 (第5回・書面決議)	第1号議案 第3回評議員会において提案する決議事項決定の件	可 決
	第2号議案 1号財産及び2号財産の取崩し、売買契約締結の件	可 決
令和5年3月7日 (第6回)	第1号議案 「令和5年度 事業計画(案)」について	可 決
	第2号議案 「令和5年度 収支予算(案)」について	可 決
	第3号議案 業務委託契約の締結について	可 決
	第4号議案 修繕引当資産の全額取崩しについて	可 決
	第5号議案 役員賠償責任保険の契約更新について	可 決
	第6号議案 評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 宇治業務執行理事 職務執行状況報告	—

4. 付属明細書

1. 令和4(2022)年度 たましん美術館実績一覧

月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	ショップ売上	売上合計
4月	19	324	387	711	37.4	126,200	28,913	155,113
5月	26	541	626	1167	44.9	227,700	51,892	279,592
6月	26	369	512	881	33.9	154,200	38,191	192,391
7月	21	305	364	669	31.9	124,300	27,913	152,213
8月	22	310	455	765	34.8	145,300	13,639	158,939
9月	22	194	318	512	23.3	93,200	15,782	108,982
10月	26	301	579	880	33.8	144,200	52,241	196,441
11月	18	225	407	632	35.1	108,400	22,421	130,821
12月	22	272	353	625	28.4	127,500	73,394	200,894
1月	23	366	301	667	29.0	170,100	120,954	291,054
2月	21	327	310	637	30.3	152,300	105,644	257,944
3月	23	391	317	708	30.8	184,800	167,468	352,268
合計	269	3,925	4,929	8,854	32.9	1,758,200	718,452	2,476,652

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	入館料	合計収入
2022/4/9~7/24	立川市×たましん美術館 -ひと、まち、アート-	92	3,428	1,539	1,889	37.3	632,400	779,309
2022/8/6~11/20	没後30年記念 松村健三郎展	88	2,789	1,030	1,759	31.7	491,100	595,183
2022/12/3~2023/3/26	コレクションの異境 小貫政之助展	89	2,637	1,356	1,281	29.6	634,700	1,102,160

2. 令和4(2022)年度 たましん歴史・美術館実績一覧

月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	その他売上	売上合計
4月	12	68	43	111	9.3	6,800	0	6,800
5月	22	98	47	145	6.6	9,800	1,281	11,081
6月	23	118	41	159	6.9	11,800	1,881	13,681
7月	17	153	77	230	13.5	15,300	3,936	19,236
8月	25	263	102	365	14.6	26,300	6,200	32,500
9月	21	283	120	403	19.2	28,300	4,000	32,300
10月	26	294	125	419	16.1	29,400	1,000	30,400
11月	14	145	59	204	14.6	14,500	12,100	26,600
12月	23	132	90	222	9.7	13,200	2,900	16,100
1月	23	146	96	242	10.5	14,600	13,400	28,000
2月	22	163	80	243	11.0	16,300	14,200	30,500
3月	11	69	58	127	11.5	6,900	17,300	24,200
合計	239	1,932	938	2,870	12.0	193,200	78,198	271,398

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	合計売上	入館料収入
2022/4/16～7/10	TAMAのアートは百花繚乱	66	470	320	150	7.1	37,298	32,000
2022/7/23～11/6	たましん名画鑑賞会	85	1,473	1,039	434	17.3	127,300	103,900
2022/11/19～2023/3/12	東洋古陶磁展 やきもの 超入門編 小貫政之助の女たち	88	927	573	354	10.5	106,800	57,300

3. 地域貢献スペース(ギャラリー)展覧会名

たましん本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)の展示活動を多摩信用金庫からの業務委託という形で支援しました。具体的には令和4年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行いました。(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数の計上はしていません)

展覧会名	会期
多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻油画研究領域有志 「Rebirth」	2022年4月11日(月)－5月27日(金)
松本 宙 「works(2017-2022)」	2022年6月6日(月)－7月15日(金)
小泉 聡子・早川 佳歩・中村 朝咲 「山と谷のあるところ」	2022年7月25日(月)－9月2日(金)
アトリエ響 「スーパーポジティブ」	2022年9月12日(月)－10月21日(金)
吉山 明恵 「うつろいの星」	2022年10月31日(月)－12月9日(金)
成清 北斗 「PORTRAIT STUDIES HOKUTO NARIKIYO」	2022年12月19日(月)－2023年2月3日(金)
手嶋 遥 「風配図Ⅱ」	2023年2月13日(月)－3月31日(金)

令和4年度

決算報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
立替金	0	82,500	△ 82,500
現金	641,413	795,204	△ 153,791
現金	641,413	795,204	△ 153,791
預金	28,463,809	9,890,483	18,573,326
普通預金	27,095,213	6,069,674	21,025,539
定期預金	0	2,400,000	△ 2,400,000
郵便貯金	1,368,596	1,420,809	△ 52,213
棚卸資産	1,288,194	1,246,086	42,108
書籍	864,597	897,107	△ 32,510
絵はがき	294,853	196,827	98,026
雑貨・文具	128,744	152,152	△ 23,408
前払費用	144,437	370,676	△ 226,239
未収金	67,861	32,588	35,273
流動資産合計	30,605,714	12,417,537	18,188,177
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	88,860,265	80,000,000	8,860,265
出資金	230,000,000	230,000,000	0
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
不動産(土地)	0	21,169,345	△ 21,169,345
不動産(建物)	0	3,485,491	△ 3,485,491
基本財産合計	838,078,365	853,872,936	△ 15,794,571
(2)特定資産			
美術館事業準備積立資産	5,599,000	5,599,000	0
退職給付引当資産	6,950,000	6,880,000	70,000
修繕引当資産	0	20,000,000	△ 20,000,000
特定資産合計	12,549,000	32,479,000	△ 19,930,000
(3)その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	349,705	858,970	△ 509,265
ソフトウェア	1	1	0
美術品(その他)	1,210,000	1,020,000	190,000
その他固定資産合計	1,850,906	2,170,171	△ 319,265
固定資産合計	852,478,271	888,522,107	△ 36,043,836
資産の部合計	883,083,985	900,939,644	△ 17,855,659
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	698,680	499,044	199,636
未払金	159,701	177,532	△ 17,831
未払費用	1,067,330	1,077,457	△ 10,127
前受収益	1,488,121	1,512,141	△ 24,020
賞与引当金	1,950,000	960,000	990,000
流動負債合計	5,363,832	4,226,174	1,137,658
2 固定負債			
退職給付引当金	6,950,000	6,880,000	70,000
固定負債合計	6,950,000	6,880,000	70,000
負債の部合計	12,313,832	11,106,174	1,207,658
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	833,677,365	849,471,936	△ 15,794,571
(うち基本財産への充当額)	(828,078,365)	(843,872,936)	(△ 15,794,571)
(うち特定財産への充当額)	(5,599,000)	(5,599,000)	(0)
2 一般正味財産	37,092,788	40,361,534	△ 3,268,746
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(20,000,000)	(△ 20,000,000)
正味財産の部合計	870,770,153	889,833,470	△ 19,063,317
負債及び正味財産合計	883,083,985	900,939,644	△ 17,855,659

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,601,598	4,602,041	△443
基本財産運用益	1,598	2,041	△443
基本財産受取配当金	4,600,000	4,600,000	0
特定資産運用益	2,231	2,232	△1
特定資産運用益	2,231	2,232	△1
固定資産受贈益	190,000	130,000	60,000
固定資産受贈益	190,000	130,000	60,000
固定資産受贈益振替分	0	0	0
事業収益	2,908,736	2,038,754	869,982
入館料収益	2,083,950	1,671,500	412,450
図録販売収益	383,100	59,800	323,300
出版事業収益	49,235	46,708	2,527
喫茶事業収益	0	0	0
物品販売収益	392,451	260,746	131,705
受取補助金等	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0
受取寄付金	84,023,000	78,900,000	5,123,000
受取寄付金	84,023,000	78,900,000	5,123,000
受取寄付金振替額	0	0	0
前受収益	0	0	0
雑収益	940,037	714,322	225,715
受取利息	1,694	901	793
雑収益	938,343	713,421	224,922
経常収益計	92,665,602	86,387,349	6,278,253
(2) 経常費用			
事業費	91,113,002	81,756,595	9,356,407
災害修復費	0	0	0
売上原価	73,392	81,528	△8,136
給料手当	28,224,381	20,616,079	7,608,302
臨時雇賃金	5,364,225	7,019,637	△1,655,412
賞与引当金繰入	1,950,000	960,000	990,000
退職給付費用	740,000	500,000	240,000
法定福利費	4,886,073	3,528,921	1,357,152
福利厚生費	331,426	169,603	161,823
旅費交通費	1,578,322	967,331	610,991
通信運搬費	2,246,249	2,572,048	△325,799
支払手数料	565,659	92,780	472,879
減価償却費	364,204	556,286	△192,082
消耗什器備品費	904,632	358,094	546,538
消耗品費	1,569,869	1,565,287	4,582
修繕費	0	242,319	△242,319
印刷製本費	9,775,704	9,158,111	617,593
燃料費	0	37,776	△37,776
光熱水料費	1,009,537	1,044,081	△34,544
賃借料	20,795,210	20,839,494	△44,284
保険料	801,395	1,048,815	△247,420
諸謝金	881,975	931,680	△49,705
保守管理費	2,908,000	2,907,998	2

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
会議費	84,617	20,464	64,153
支払負担金	0	0	0
図書費	415,141	379,557	35,584
委託費	4,952,396	5,514,897	△562,501
研修費	0	0	0
宣伝費	5,000	87,500	△82,500
仕入費	228,805	134,109	94,696
諸会費	356,700	422,200	△65,500
雑費	0	0	0
退職金	100,000	0	100,000
雑損失	90	0	90
管理費	4,751,345	4,832,507	△81,162
役員報酬	441,280	239,600	201,680
給料手当	0	200,000	△200,000
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	209,897	168,260	41,637
福利厚生費	46,351	13,168	33,183
会議費	125,027	53,346	71,681
旅費交通費	33,146	38,506	△5,360
通信運搬費	436,436	412,009	24,427
支払手数料	56,802	56,354	448
減価償却費	271,120	273,296	△2,176
消耗什器備品費	5,056	94,352	△89,296
消耗品費	238,132	162,843	75,289
修繕費	0	15,585	△15,585
印刷製本費	0	140,379	△140,379
燃料費	0	6,135	△6,135
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	431,136	438,593	△7,457
保険料	68,165	74,185	△6,020
諸謝金	0	0	0
租税公課	11,950	4,800	7,150
保守管理費	92,000	92,002	△2
図書費	0	0	0
研修費	49,000	208,824	△159,824
交際費	196,810	171,970	24,840
委託費	1,748,237	1,535,800	212,437
諸会費	215,800	355,800	△140,000
雑費	3,000	3,700	△700
雑損失	0	1,000	△1,000
経常費用計	95,864,347	86,589,102	9,275,245
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,198,745	△201,753	△2,996,992
基本財産評価損益等	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,198,745	△201,753	△2,996,992
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取保険金	0	0	0
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	1	0	1
什器備品除去損	1	0	1
固定資産売却損	0	0	0
建物売却損	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0
土地売却損	0	0	0
借地権売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
災害損失	0	0	0
災害修復損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
その他経常外費用	0	0	0
その他経常外費用	0	0	0
棚卸資産処分損	0	0	0
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△1	0	△1
他会計振替額	0	0	0
他会計からの繰入額	30,580	3,917	26,663
他会計への繰出額	30,580	3,917	26,663
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,268,746	△271,753	△2,996,993
一般正味財産期首残高	40,361,534	40,633,287	△271,753
一般正味財産期末残高	37,092,788	40,361,534	△3,268,746
II 指定正味財産増減の部			
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金	8,860,265	0	8,860,265
出資金（指定）	0	0	0
公社債（指定）	0	0	0
定期預金（指定）	8,860,265	0	8,860,265
受取寄付金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損（土地）	13,549,517	0	13,549,517
基本財産評価損（建物）	2,245,054	0	2,245,054
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
普通預金（指定）	0	0	0
普通預金	0	0	0
受贈不動産（土地）	7,619,828	0	7,619,828
受贈不動産（土地）	7,619,828	0	7,619,828
受贈不動産（建物）	1,240,437	0	1,240,437
受贈不動産（建物）	1,240,437	0	1,240,437
当期指定正味財産増減額	△15,794,571	0	△15,794,571
指定正味財産期首残高	849,471,936	849,471,936	0
指定正味財産期末残高	833,677,365	849,471,936	△15,794,571
III 正味財産期末残高	870,770,153	889,833,470	△19,063,317

正味財産増減計算書内訳表
令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計 取 入	法人会計	共通配賦	合 計
	公1	公2	共通	小 計				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	4,601,598	4,601,598	0	0	0	4,601,598
基本財産運用益	0	0	1,598	1,598	0	0	0	1,598
基本財産受取配当金	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000
特定資産運用益	0	0	2,231	2,231	0	0	0	2,231
特定資産運用益	0	0	2,231	2,231	0	0	0	2,231
固定資産受贈益	190,000	0	0	190,000	0	0	0	190,000
固定資産受贈益	190,000	0	0	190,000	0	0	0	190,000
事業収益	2,467,050	49,235	0	2,516,285	392,451	0	0	2,908,736
入館料収益	2,083,950	0	0	2,083,950	0	0	0	2,083,950
図録販売収益	383,100	0	0	383,100	0	0	0	383,100
出版事業収益	0	49,235	0	49,235	0	0	0	49,235
物品販売収益	0	0	0	0	392,451	0	0	392,451
受取寄付金	18,500,000	0	61,300,000	79,800,000	190,000	4,033,000	0	84,023,000
受取寄付金	18,500,000	0	61,300,000	79,800,000	190,000	4,033,000	0	84,023,000
雑収益	507,924	329,220	58,734	895,878	495	43,664	0	940,037
受取利息	700	0	994	1,694	0	0	0	1,694
雑収益	507,224	329,220	57,740	894,184	495	43,664	0	938,343
経常収益計	21,664,974	378,455	65,962,563	88,005,992	582,946	4,076,664	0	92,665,602
(2) 経常費用								
事業費	57,648,099	32,968,978	0	90,617,077	495,925	0	0	91,113,002
売上原価	7,175	25,335	0	32,510	40,882	0	0	73,392
給料手当	15,444,521	12,779,860	0	28,224,381	0	0	0	28,224,381
臨時雇賃金	3,646,715	1,717,510	0	5,364,225	0	0	0	5,364,225
賞与引当金繰入	1,050,000	900,000	0	1,950,000	0	0	0	1,950,000
退職給付費用	450,000	290,000	0	740,000	0	0	0	740,000
法定福利費	2,684,665	2,201,408	0	4,886,073	0	0	0	4,886,073
福利厚生費	122,306	209,120	0	331,426	0	0	0	331,426
旅費交通費	1,011,761	566,561	0	1,578,322	0	0	0	1,578,322
通信運搬費	776,348	1,465,541	0	2,241,889	4,360	0	0	2,246,249
支払手数料	505,954	54,839	0	560,793	4,866	0	0	565,659
減価償却費	364,204	0	0	364,204	0	0	0	364,204
消耗什器備品費	672,038	232,594	0	904,632	0	0	0	904,632
消耗品費	1,161,828	408,041	0	1,569,869	0	0	0	1,569,869
印刷製本費	1,781,152	7,994,552	0	9,775,704	0	0	0	9,775,704
光熱水料費	803,537	206,000	0	1,009,537	0	0	0	1,009,537
賃借料	20,248,147	350,141	0	20,598,288	196,922	0	0	20,795,210
保険料	797,678	3,717	0	801,395	0	0	0	801,395
諸謝金	41,136	840,839	0	881,975	0	0	0	881,975
保守管理費	2,682,000	206,000	0	2,888,000	20,000	0	0	2,908,000
会議費	12,623	71,994	0	84,617	0	0	0	84,617
図書費	80,500	334,641	0	415,141	0	0	0	415,141
委託費	2,925,611	2,026,785	0	4,952,396	0	0	0	4,952,396
宣伝費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	5,000
仕入費	0	0	0	0	228,805	0	0	228,805
諸会費	273,200	83,500	0	356,700	0	0	0	356,700
退職金	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000
雑損失	0	0	0	0	90	0	0	90
管理費	0	0	0	0	0	4,751,345	0	4,751,345
役員報酬	0	0	0	0	0	441,280	0	441,280
法定福利費	0	0	0	0	0	209,897	0	209,897
福利厚生費	0	0	0	0	0	46,351	0	46,351
会議費	0	0	0	0	0	125,027	0	125,027
旅費交通費	0	0	0	0	0	33,146	0	33,146
通信運搬費	0	0	0	0	0	436,436	0	436,436
支払手数料	0	0	0	0	0	56,802	0	56,802
減価償却費	0	0	0	0	0	271,120	0	271,120
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	5,056	0	5,056
消耗品費	0	0	0	0	0	238,132	0	238,132
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	431,136	0	431,136
保険料	0	0	0	0	0	68,165	0	68,165
租税公課	0	0	0	0	0	11,950	0	11,950
保守管理費	0	0	0	0	0	92,000	0	92,000
研修費	0	0	0	0	0	49,000	0	49,000
交際費	0	0	0	0	0	196,810	0	196,810
委託費	0	0	0	0	0	1,748,237	0	1,748,237
諸会費	0	0	0	0	0	215,800	0	215,800
雑費	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000
経常費用計	57,648,099	32,968,978	0	90,617,077	495,925	4,751,345	0	95,864,347
評価損益等調整前当期経常増減額	△35,983,125	△32,590,523	65,962,563	△2,611,085	87,021	△674,681	0	△3,198,745
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△35,983,125	△32,590,523	65,962,563	△2,611,085	87,021	△674,681	0	△3,198,745
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除去損	0	0	0	0	0	1	0	1
什器備品除去損	0	0	0	0	0	1	0	1
経常外費用計	0	0	0	0	0	1	0	1
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	△1	0	△1
他会計振替額	0	0	30,580	30,580	△30,580	0	0	0
他会計からの繰入額	0	0	30,580	30,580	0	0	0	30,580
他会計への繰出額	0	0	0	0	30,580	0	0	30,580
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△35,983,125	△32,590,523	65,993,143	△2,580,505	△13,559	△674,682	0	△3,268,746
一般正味財産期首残高	△299,094,268	△288,978,517	624,893,321	36,820,536	402,268	3,138,730	0	40,361,534
一般正味財産期末残高	△335,077,393	△321,569,040	690,886,464	34,240,031	388,709	2,464,048	0	37,092,788

正味財産増減計算書内訳表
令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計	収 1			
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金	8,328,650	0	0	8,328,650	531,615	0	0	8,860,265
定期預金(指定)	8,328,650	0	0	8,328,650	531,615	0	0	8,860,265
基本財産評価損(土地)	12,736,545	0	0	12,736,545	812,972	0	0	13,549,517
基本財産評価損(建物)	2,110,347	0	0	2,110,347	134,707	0	0	2,245,054
受贈不動産(土地)	7,162,639	0	0	7,162,639	457,189	0	0	7,619,828
受贈不動産(土地)	7,162,639	0	0	7,162,639	457,189	0	0	7,619,828
受贈不動産(建物)	1,166,011	0	0	1,166,011	74,426	0	0	1,240,437
受贈不動産(建物)	1,166,011	0	0	1,166,011	74,426	0	0	1,240,437
当期指定正味財産増減額	△14,846,892	0	0	△14,846,892	△947,679	0	0	△15,794,571
指定正味財産期首残高	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	0	0	849,471,936
指定正味財産期末残高	530,586,750	0	302,559,000	833,145,750	531,615	0	0	833,677,365
III 正味財産期末残高	195,509,357	△321,569,040	993,445,464	867,385,781	920,324	2,464,048	0	870,770,153

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
 その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。
 退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	80,000,000	8,860,265	0	88,860,265
出資金（多摩信用金庫）	230,000,000	0	0	230,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
土地	21,169,345	0	21,169,345	0
建物	3,485,491	0	3,485,491	0
小 計	853,872,936	8,860,265	24,654,836	838,078,365
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,599,000	0	0	5,599,000
退職給付引当資産	6,880,000	740,000	670,000	6,950,000
修繕引当資産	20,000,000	0	20,000,000	0
小 計	32,479,000	740,000	20,670,000	12,549,000
合 計	886,351,936	9,600,265	45,324,836	850,627,365

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	88,860,265	(78,860,265)	(10,000,000)	(0)
出資金(多摩信用金庫)	230,000,000	(230,000,000)	(0)	(0)
美術品	519,218,100	(519,218,100)	(0)	(0)
小 計	838,078,365	(828,078,365)	(10,000,000)	(0)
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,599,000	(5,599,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	6,950,000	(0)	(0)	(6,950,000)
小 計	12,549,000	(5,599,000)	(0)	(6,950,000)
合 計	850,627,365	(833,677,365)	(10,000,000)	(6,950,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
什器備品	1,744,742	1,395,037	349,705
ソフトウェア	509,250	509,249	1
合 計	2,253,992	1,904,286	349,706

財 産 目 録

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金		手元保管	運転資金 641,413円である。	641,413
現金				641,413
預金				28,463,809
普通預金				27,095,213
多摩信用金庫国立支店		多摩信用金庫国立支店 普通預金	運転資金として	25,960,127
青梅信用金庫中町支店		青梅信用金庫中町支店 普通預金	運転資金として	14,114
多摩信用金庫本店		多摩信用金庫本店 普通預金	運転資金として	1,120,972
郵便貯金				1,368,596
ゆうちょ銀行 当座預金	多摩のあゆみ	ゆうちょ銀行0一九支店 当座預金	運転資金として	1,368,596
棚卸資産				1,288,194
書籍		たましん歴史・美術館、たましん美術館	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売と、 公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の在庫である。	864,597
絵はがき		たましん美術館	収1[物品販売]の在庫である。	294,853
雑貨・文具		たましん美術館	収1[物品販売]の在庫である。	128,744
前払費用		美術年鑑社	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「新美術新聞」年間購読料令5年度分である。9,000円	144,437
		美術年鑑社	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「新美術新聞」年間購読料令6年度分である。9,000円	
		全国公益法人協会	法人の管理運営の用に関わる会費である。46,200円 会社役員賠償責任保険料である。63,000円	46,200
		たましんリース(株)	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供するコピー機のリース代(賃借料)である。17,237円	17,237
未収金		地方小出版流通センター	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。1,717円	67,861
		(株)けやき出版	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。2,250円	
		セコム(株)	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での御岳美術館警備保守料契約終了に伴う返金分である。63,894円	63,894
流動資産合計				30,605,714
(固定資産)				
基本財産				
定期預金		多摩信用金庫国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している。	88,860,265
出資金		多摩信用金庫出資金	同上	230,000,000
美術品(基本)		たましん美術館、武蔵野収蔵庫、 国立収蔵庫 全3,815点。	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用している。	519,218,100
特定資産				
美術館事業準備積立資産		多摩信用金庫国立支店 定期預金	美術館事業運営のための準備積立金 5,599,000円	5,599,000
退職給付引当資産		多摩信用金庫国立支店 定期預金	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	6,950,000
その他固定資産				
電話加入権		042-574-1360他3回線	公益目的保有財産である。	291,200
什器備品		パソコンほか	(共用財産) 公益目的保有財産及び、公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産である。 法人の管理運営の用に供している財産である。	349,705
ソフトウェア		会計ソフト	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用している。	1
美術品(その他)		国立収蔵庫 全121点		1,210,000
固定資産合計				852,478,271
資産合計				883,083,985
(流動負債)				
預り金		職員	社会保険料3月分 270,925円 社会保険料12月戻し分 36,543円 社会保険料(期末賞与) 43,360円 市町村民税(3月) 59,100円 雇用保険4-3月および賞与分 121,709円 所得税(3月分、期末賞与分) 48,724円	698,680
		パートタイマー	雇用保険4-3月 6,526円 所得税(3月分) 2,805円	
		ぐるっとパス	昼食代3月分 2,925円	
		多摩のあゆみ原稿料	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのぐるっとパス売上代金である。(R4.10~R5.3月分) 27,500円 公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での『多摩のあゆみ』原稿料に係る源泉徴収税3月分である。13,643円	
		役員報酬	理事会における役員報酬に係る源泉徴収税である。(3月分) 31,680円	
		法律顧問料・社労士報酬	法人の管理運営に関わる事業での法律顧問料に係る源泉徴収税である。10,778円	
		美術館デザイン報酬	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での美術館年報デザイン報酬である。22,462円	
未払金		(株)武蔵野	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん歴史・美術館、たましん美術館入口用マトリース代(委託費)である。8,555円	159,701
		木場本 祥子	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。7,007円	
		多摩都市モノレール(株)	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。1,722円	
		加藤 進一	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。5,005円	
		(株)けやき出版	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。2,640円	
		(株)月光花画材店	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。12,584円	
		ヤマト運輸(株)	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「小貫政之助」展における撤去作業代である。60,500円	
		ファーレ立川アート	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。	

財 産 目 録

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
未払費用	鈴鹿	4,312円 収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 12,666円	1,067,330	
	吉祥寺美術館	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 23,720円		
	コムワイウェブ(株)	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのぐるっとバスSIM利用料(3月分)である。 990円		
	手嶋 遥	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での地域貢献スペース報酬代である。 20,000円		
	職員	公益目的事業及び法人の管理運営の業務に従事する職員の3月分の交通費ある。 15,714円		
	職員	社会保険料(事業主負担分) 277,621円 社会保険料(賞与分) 44,440円 雇用保険料(事業主負担分) 179,877円 雇用保険料(賞与分) 47,039円		
	パートタイマー	雇用保険料(事業主負担分) 12,114円		
	パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の賃金である。 342,056円		
	パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の交通費である。 15,976円		
	ビジネス派遣	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するビジネス派遣スタッフの3月分の賃金負担金である。 132,493円		
前受収益	多摩のあゆみ定期送付申込者	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での、多摩のあゆみ定期送付受付時に発生する収入である。 1,488,121円	1,488,121	
賞与引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備えたものである。	1,950,000	
流動負債合計			5,363,832	
(固定負債)	退職給付引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	6,950,000
固定負債合計			6,950,000	
負債合計			12,313,832	
正味財産			870,770,153	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	960,000	1,950,000	960,000	0	1,950,000
退職給付引当金	6,880,000	740,000	670,000	0	6,950,000